

日本有志する

君塚氏起用

同大使訪問記



それはやがてサンバウロ

が一大河港となり二千

噸級の河用汽船がどど

としエテ河は

その各橋は數年以前から工

事はそれを示す。又新

たに幾つもの橋や工事が

この大計畫徹底の必要に

かべて河底を掘下げる一

方、又十指に余る新橋を

架設しているが結局そ

の主なる目的は、

平たい河川用の貨物船そ

の都ベーリンの如く出

来るだけ多く運河を貫通

させ水の便を最大限度

加えられ、総的に凌渡

された、當々一千噸級の

河用汽船が貨物を満載され

て航行するのもそう遠く

ない、將來だといわれば

それが世界の都サンバウ

ロもやがて水都と呼ば

れる日も近いだろう。

尙エテ河改修に關して

は戰前水谷第三郎氏が

當時の州政府にその計畫

を述べ、正に同氏等の手

によつて実施されよう

したが、時局の爲実行さ

れたが、先端を行き過ぎた爲

成功を見なかつたのであ

る。

尙谷氏は世人が大豆の

効用を認める以前に早

く北米へ行く豫定だ。そ

してアツチの總選舉の結

果をトワクリ見て來よう

と云う考えらしい。何し

かと云ふ考へられない。何し

